



「どんなことばが出来るかな？」

今回は2つのことばでできていることばを探してみましょう。例えば、「ゆきだるま」は「ゆき」と「だるま」のことばからできています。また「くつばこ」は「くつ」と「はこ」からできていますが、「はこ」は「ばこ」になります。これらのことばは文字数が多くなる分、覚えにくさや、言いにくさを伴うこともあります。

ここでは知っていることば2つから別のことばをつくる体験を通して、ことばの面白さや語彙の豊かさにつながっていければと思います。

【どんなことばが出来るかな？】

① 口頭で大人が問いかけます。

(例)「かみ」と「ひこうき」で。。 『かみひこうき』

*2つのことばは覚えやすいように、ゆっくり声をかけてください。

② たしざん風に、カード(紙)に書いて、ことばをつくります。

(例) だんご + むし = 『だんごむし』

せんたく + はさみ □ = 『せんたくばさみ』

*□カードは濁点があるヒントになります。

③ 子どもが見つけたことばを言ってもらいます。

(例) せんたくとかごで、せんたくかごになる。

むしめがねは、むしとめがねからできてる。

～いっしょに遊ぼう～

豊かな言語活動を

前回の続きを書きたいと思います。

日本語の豊かさを享受しながら、それを正しく美しく使っていかなくてはなりません。

保育園を訪問して助言指導をする事がありますが、大人の言葉が多すぎると話をする事があります。子どもに理解してもらおうよう、納得してもらおうよう話されるのですが、子どもには長いのです。先生は優しく、丁寧がゆえ起こる事なのです。向き合っている内容が子どもの次への動機付けになるのなら良いのですが。端的に丁寧な言葉で話したら、行動に移りましょうと筆者は思ってしまうのです。

「子どもに言葉を手渡す」筆者はこの言葉をよく使います。手渡したい言葉は何でしょう。子どもの心に響く言葉を預けましょう。聞かせたい言葉、獲得して欲しい言葉、わくわくする言葉、色々あるでしょう。家庭も含め、言語活動のモデルになるのは大人という「人」だという事を強調したいと思います。

ことばあそび

誰しも早口ことばで遊んだ経験があるのでは？大切な言葉を発するには、神経系統の緊張が必要になります。口元の緩んだ子どもが増えていると感じています。口角をよく動かす事を遊びの中でしていきましょう。

かえるぴよこぴよこ 三ぴよこぴよこ
あわせてぴよこぴよこ 六ぴよこぴよこ

かきを きって くって けて ころんだ
さるが しまに すみ せんたく そうじ

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなごます
夢と希望もてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp

★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。